

(様式4)

令和3年度 近畿ブロック 事業報告

1. 活動テーマ

「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開」～保健師の原点から住民とともに創る未来～

2. 目的

地域住民の健康保持・増進のために組織的な保健師活動が展開できる人材を育成するために、各支部の取り組み等の情報交換や研修を実施し、専門性の高い公衆衛生活動を推進する。

3. 実施状況

回	時期	場所	内容
1	令和3年 7月10日(土)	滋賀県民交流センター(ピアザ淡海) 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20	第1回 理事・支部長会 12人出席 ・常任理事会等報告 ・年間計画、ブロック研修検討 ・各支部活動状況等情報交換
2	令和3年 9月25日(土)	Zoom	第2回 理事・支部長会 12人出席 ・ブロック研修会について ・情報交換
3	令和3年 11月6日(土)	Zoom	近畿ブロック研修会 ・全国保健師長会活動報告 ・講演会(健康危機管理マネジメント) 参加者 約200名
4	令和4年 2月19日(土)	中止	第3回 理事・支部長会 ・ブロック研修報告・評価 ・活動のまとめ ・次年度の研修計画 ・情報交換

4. 結果・課題

【理事会・支部長会】

- ・集合を基本としたかったが、1回しか集まれず、年度末は新型コロナ第6波到来のため開催もできなかった
- ・全国保健師長会理事会の報告
- ・各支部の情報交換と研修会の開催について検討。新型コロナウイルス感染症にかかる体制や対応等について情報交換できたが、新型コロナ感染症の対応に追われているのが現状で支部活動を展開していくのは難しい状況であるという意見が多く聞かれた
- ・研修会については、コロナ対応と保健師の疲弊の現状を踏まえ、研修会の内容、講師について前向きに元気がでるような内容にしたいという意見にまとめ講師を依頼することになった

【研修会(ZOOM)】

- ・Zoom開催としたことと新型コロナ第5派が落ち着いたタイミングでの開催であったため、多数の方に参加していただくことができた。実践を踏まえた先生の講演で、事後アンケートからも内容の理解、目標である①リスクマネジメント能力の向上②危機管理事案発生時の自治体保

健師の役割理解③保健師活動のエネルギーを得る いずれも8割以上が高評価であった。

5. 支部活動の特徴

近畿ブロックはアクセスが比較的裕、理事・支部長会、研修会に集まりやすく、府県・政令市の枠を超えた活発な情報楼観の場になっている。できるだけ集合で開催できるとよいが、今後とも開催時期や方法を検討しながら支部活動の充実を図っていきたい

6. 委員・支部長

○ 理事	田中佐和子	滋賀県東近江健康福祉事務所
理事	東口三容子	堺市健康部
大阪府	山本祐子	大阪府健康医療部 健康医療総務課
兵庫県	山下久美	兵庫県健康福祉部健康局 健康増進課
京都府	勝山久美子	京都府健康福祉部
和歌山県	尾崎裕美	和歌山県福祉保健部健康局 医務課
奈良県	信野左千子	奈良県福祉医療部 医療政策局 健康推進課
滋賀県	佐谷裕子	滋賀県湖東健康福祉事務所
大阪市	松本珠実	大阪市健康局 健康推進部
堺市	山中八重	堺市保健所 感染症対策課
神戸市	山崎初美	神戸市健康局
京都市	小田知園	京都市保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室、健康長寿企画課